

## 第4回市民活動サポートセンター運営委員会 会議録

平成14年1月10日 19:00～20:30

市民活動サポートセンターフレキシブルスペース

### 1 報告事項

次第に沿って報告した

### 2 審議事項

・提案どおり承認した

### 3 その他

- ・会議録はなるべく早くサポートセンター情報コーナー、市政情報コーナー、サポートセンターホームページで公開することを承認した
- ・次回運営委員会 3月14日(木) 19:00～

### [意見概要]

#### 1 報告事項

##### (4) 市民協働推進セミナーについて

###### (事務局)

- ・今日現在で、昼コース25人(市民12+市職員13)、夜コース22人(市民14+市職員8)となっている。夜コースはまだ余裕があるので、運営委員からも受講をお願いしたい。

##### (5) のたろんフェア2002進捗状況について

###### (百瀬委員)

- ・フィールドスタディ参加者の応募状況は？

###### (事務局)

- ・問合せは多いが、実際に申し込んだ人は9人とどまっている。声がけをお願いしたい。

###### (百瀬委員)

- ・申込書の自己PR欄だが、どこかの団体に入って本格的にやってみようという人以外はなかなかそこまで書こうという気にならないのではないかと思った。しかし、今まで通りではなく、新しいことに取り組むことは良い。

###### (事務局)

- ・今まではスタンプラリーという形だったが、一歩進めて、ボランティアのインターンシップという趣旨で考えた企画である。申込書はもう少し工夫が必要だったかもしれない。

###### (新井委員)

- ・スタッフ募集という表現が、会に所属してこれからずっとやっていくスタッフと誤解されるのではないか。スタッフ体験希望者募集という意味で捉えられない。

###### (岡本委員)

- ・フィールドスタディという名称が体を動かす活動というイメージに感じたので、あまり多くの方が参加して困ることもあって、新聞投稿の書き方を教える自分たちの活動は参加しないこととした。「体験学習」等の表現の方が良い。

###### (庄司委員)

- ・昨年度ののたろんフェアでは、ダイエーのセールと重なり客が流れた。周辺で行われるイベ

ントの調査が必要である。

(事務局)

- ・今年ドブ板バザールに合わせて開催し、集客を見込んでいる。フェアの日程は早い段階で決定するため、直前にしかわからないセールとの調整は無理がある。いろいろと試行錯誤しながら実行委員会を中心に進めている。

(松尾委員)

- ・申込み書や募集形態などいろいろ課題はあるが、まず、やってみることが大切である。

(6) 利用者ミーティングについて (資料 5)

(今城委員)

- ・利用者ミーティングで提起された問題点を整理し、事務局から運営委員会に提案をしていく必要がある。

(事務局)

- ・運営委員会開催前に新井委員長、水谷委員長職務代理と議題について打ち合わせを行っているが、今後も利用者ミーティングを開催していくこと以外は、今回の利用者ミーティングの内容から運営委員会に提案する必要があると考えられるものはなかった。

(今城委員)

- ・そのような打ち合わせが行われていて、検討されていれば問題ない。

(道畑委員)

- ・結局、活動には利用できないということになったのか。

(事務局)

- ・これまでどおり、土曜以外の 17～22 時、5 人未満の公益活動団体は活動に利用できる。利用者ミーティングでサポートセンターを使わせてほしいと要望があった外国人に日本語を教える活動は、市の委託事業であることから、市の担当課と直接話し合うのが先だろう、ということになった。

(岡本委員)

- ・県のサポートセンターでは、語学系の団体が活動の場として利用できるため、要望があるのではないか。

(事務局)

- ・「サポートセンターで活動そのものはできない」としたのは、囲碁・将棋、生け花などをボランティアで教えることも活動であり、この活動は良くてこの活動はだめといった線引きは不可能と考えたためである。活動を認めることは、大きな転換であり、利用者ミーティングで一般の利用者からも「慎重に」との意見もあった。今後も現状のルールで行く考えである。

## 2 審議事項

(1) のたろんフェア開催に伴う利用制限について

(事務局)

- ・2月9日 18:30～2月11日 17:00 まで、サポートセンターの通常利用はワーキングコーナーのみとしたい。

(水谷委員)

- ・パネル枚数が多いので、印刷等は、久里浜市民活動サポートセンターやボランティアセンターを紹介し、通常利用は全面的に不可としても良かった。

## (2) 市民公益活動団体について（資料 6）

### （事務局）

- ・備考欄「※新規」の団体は、前からデータベース登録はあったが、最近、資料の提出があり、公益活動団体と判断した団体である。
- ・代表者や住所が変わっている団体もあるので、データベースの更新について検討している。
- ・会報を置いているだけの団体にもデータベース登録をお願いし、連絡がとれるようにしておきたいと考えている。

### （今城委員）

- ・県のサポートセンターは登録団体が自分の情報を自分で修正できるようになっている。県のデータベースを参考にすると良い。

## (3) サポートセンターの利用について（資料 7）

### （事務局）

- ・サポートセンターの利用の可否について迷うケースがあり、資料 7 のとおり整理し提案する。

### （水谷委員）

- ・定例会が可となると、多人数の会議の場としての利用が多くなる懸念がある。

### （今城委員）

- ・多人数の会議は、自分たちで使いにくさを感じて使わなくなる形が望ましい。最初から運営側で定例会は不可としない方が良い。

### （松尾委員）

- ・他の利用者に迷惑がかからず、楽しく活動できればなんでも OK にしたいところだが、そうになると、結局、他の利用者に迷惑をかける結果になる。

### （新井委員）

- ・迷惑と感じる基準は人によって違うが、ある程度の原則、方針は必要である。

### （飯塚委員）

- ・迷惑と感じた人が自分で言うか、言いにくい人はスタッフに言ってもらうなどして、その都度対応していくしかない。

### （庄司委員）

- ・開設当初、利用者が少なかった時から考えればうれしい悲鳴である。

### （安倍委員）

- ・利用者に注意を促す時には言い方も重要な要素である。

## 3 その他

### （事務局）

- ・運営委員会の議事録を早めに見られるようにしてほしいという要望があった。今回の議事録から、でき次第、サポートセンター情報コーナーと市政情報コーナーに置き、サポートセンターのホームページでも公開したい。次の運営委員会で内容を確認していただき、必要があれば修正をする。

### （新井委員）

- ・関心を持っている人がいるということは喜ばしいことである。